



京都民医連 北部地域学術 運動交流集会 を開催しました

続いて二つの会場に分かれた分散会では、13演題の発表がありました。発表された活動実践は、どちらも画面から熱量が溢れる内容となりました。医療や介護現場での実践や学びを得た事例報告、調査研究から明らかになつた課題、新たな取り組みを実施したことによる有効性の評価など、どれも多様で今後の活動につながる内容となりました。

コロナ禍は私達が培つてきた様々な「つながり」を奪つてしましましたが、そのような中につつて私達の医療や介護活動が病気を癒し、人と人を結ぶ大切な架け橋になつている」とを再認識することができました。



京都協立病院が加盟する日本医連では加盟する事業所が集まる開催で、学術活動交流集会を開催しています。10月29日に京都北部にある事業所が集い、「北部地域学術運動交流集会」を開催しました。この集会は、各事業所の医療・介護活動等の振り返りや、新たな取り組み、業務改善、また今後の展開につながる活動実践をまとめて発表することで、取り組みの共有、質の向上、平和といのち・くらしを守る運動の前進につなげることを目的にするものです。今年はコロナ禍で従来通りの実施方法での開催とはならず、綾部、福知山、舞鶴、丹後の各事業所をオンラインで結び開催するという方法を取りました。



新型コロナウイルス感染症について

内科
門
祐
輔



新型コロナウイルスって何ですか？



症状のある人からうつるのですか？

体調が悪い時はどうしたらいいのですか？

この地域では、外出で「密」にならないようにして下さい。普通の外出や運動であればマスク着用も不要です。でも人と話す時、買物に行く時などはマスクが必要です。いつでも着けることができるよう持ち歩いてください。新型コロナウイルスを恐れて人と交流しないことや運動不足になることがむしろ問題です。感染対策をしながら人との交流や運動をしてください。

新型コロナウイルスって
何ですか？

2019年12月に発見されたウイルスで、最初は普通の風邪（かぜ）と同じく、発熱、咳、だるさなどの症状で始まります。風邪なら数日で症状が改善しますが、新型コロナウイルスにかかった人の2割くらいは、症状が出て1週間くらいしてから肺炎を生じ、さらに命に関わる状態になります。特に高齢者では悪くなることが多い大問題になっています。

どうやって
病気になるのですか？



**病気にならないためには
どうしたらしいのですか？**

と（ソーシャルディスタンス）、距離が
いにマスクをつけることです。接触感染
を防ぐためには、手洗いやアルコール消
毒をしまめにすること、消毒していない
手で口・鼻・目に触らないことです。

綾部や福知山で流行っているのですか?

2020年11月末時点では、綾部と福知山で30名に近い方が感染が確認されています。京都府内では2500名を超えて、その多くは京都市などの大都市なので、綾部、福知山の感染者数は多くはありません。ただし新型コロナウイルス感染者の入院できる病棟が限られていますので、クラスメート（患者集団）が発生すると大問題になります。地元の感染状況について市からの報道に注意してくだせ。

新型コロナウイルスはどうしたら収束するのでしょうか？

まだ分かりません。ワクチン開発が進んでいますが、その効果や副作用はまだ不明です。弱毒化に期待する声もありますが、これもまだ分かりません。当面は根絶ではなく、感染を広げない、感染者を重症化させないという姿勢で臨むことが大切です。

新型コロナウイルスにかかるのは
注意がたりなかつたせいでしょう

そうではありません。全国的に、どうして誰からうつったか分からないケースが増えています。どんなに注意していてもうつることがあるのです。またこの病気に対処している病院や介護施設の職員や家族を差別する事例も報道されていますが、それも問題です。感染した場合や対処する医療機関は、他の人に感染を広げないよう最大限行っています。感染して治った患者・家族・医療・介護従事者に対する差別は根拠がなく、避けなければなりません。